



東映株式会社

COMPANY PROFILE
TOEI COMPANY,LTD.

Top Message

社長あいさつ

愛される「ものがたり」を全世界に



平素より、東映株式会社ならびに東映グループへの格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は1951年に誕生しそれから70年以上の間、幅広いファンの皆様に支えていただきながら、どのように世の中が変わっても新たなメディアが登場しても、常に柔軟に対応しつつ一貫して映像製作＝「ものがたり」作りを続けてまいりました。

私たちはなぜ「ものがたり」を作り続けるのでしょうか？

それはいつの時代も人が衣食住と等しく、喜びや希望といった心の糧となる「ものがたり」を必要とし、私たちは人々へ「ものがたり」を提供したいと願うからです。

これまでに当社グループが生み出した映像作品は、劇場用映画4,400作品以上、テレビ映画39,000話以上、配信映画600話以上にのぼります。

私たちはこれらの多様で魅力的な作品を自ら企画製作し、さらに生み出した作品をIPホルダーとして、劇場からテレビ、配信、DVD/Blu-ray、商品化、ゲーム、イベント、舞台等においてマルチユース（多用途活用）展開させ、多くの皆様楽しんでいただけてまいりました。

映像製作においては、実写は東京撮影所と京都撮影所、アニメは東映アニメーション（株）における製作、また東映ラボ・テック（株）でのポストプロダクション、そしてツールン研究所での最先端映像技術の開発など充実した体制を有し、販売チャンネルでは（株）ティ・ジョイでの映画興行に加え、自社メディアによる配信も手掛けております。

さらに映像作品から生まれるキャラクター権ビジネスやイベント、また文化催事までをマルチチャンネルにて展開し、ファンの皆様にご提供してまいりました。

このように自らによる映像企画製作とマルチユース（多用途活用）展開を積み重ね、映像作品をファンの皆様へご提供し続けていく当社グループのビジネスモデルは、他にはない私たちだけの強みと認識しております。

-愛される「ものがたり」を全世界に-

この強みを活かした企業活動によって、人々の心の糧となる「ものがたり」を全世界へお届けし、世界を喜びと希望で豊かにすることが私たちの使命と考えております。

ファンの方々、株主様をはじめとする皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役社長

吉村文雄

東映グループは、映像製作の絶え間ない継続による「全世界で人々に愛されるエンターテインメントの創造発信」という企業理念に基づきエンターテインメントを創造発信し続ける為に、ESG 活動を推進してまいります。

Environment

環境

Entertainmentを提供し続け、Environmentの課題解決へ

東映グループは東京・京都に撮影所を擁し、絶え間ない映像娯楽を提供する為に昨今の外的要因（天災・疫病など）にも対処できる自立した体制の構築に取り組んでおります。将来的には全社を挙げて、環境に優しい企業グループを目指します。

環境と人に優しい映像製作プロセスの構築

配信メディアの興隆により、国内外を問わず、多様な作品のニーズが高まっています。一方で、コロナ禍におけるロケーション撮影の制限や、スタッフの働き方改革に対応した撮影時間の削減など、映像制作には様々な解決すべき課題がある中で、継続的かつ効率的な制作体制の構築を実現する「バーチャルプロダクション」（以下、VP）が世界的に注目されています。

当社では2022年10月よりVP部を発足させ、横30m×縦5mのLEDウォールを設置した、日本最大のLEDスタジオとしてリニューアルし、2024年から運用開始いたします。VPの活用により、「ロケーション撮影に伴う移動車両の排気ガスの削減」や「セット解体による廃棄物量の減少」など環境問題への対応も可能になります。

創業以来70年にわたり、美術・衣装・照明など人材・技術を積み重ねてきた撮影所だからこそ実現できるVPの形を追求していきます。

バーチャルプロダクション



メイキング



完成図

Social

社会

Smileの絶えないSocialをめざして

東映グループは映像娯楽を発信する会社として働く仲間とすべてのステークホルダーの笑顔を大切に企業グループを目指します。

東映グループで働く人たちが笑顔で安心して働ける為に

永続的に良質なコンテンツやサービスを提供していく為には、全ての従業員の心身の健康が守られ、その能力を最大限に発揮できる環境を整えることが不可欠と考えています。その実現に向け、健康経営の推進・働き方改革・ハラスメント撲滅・多様性の尊重等に積極的に取り組んでいます。

映像を活用した社会貢献

自社の映像製作力という強みを活かし、社会問題の課題解決に貢献できるよう、その時代に必要とされる教育映像の開発に取り組んでいます。また、より多くのお客様に作品を届けられるよう、字幕・音声ガイド付きのバリアフリー上映や、映画館が近くにない地域の方々のもとへ出向いた映画の移動上映も実施しています。

映像資産の継承と有効活用

1951年創立以来、当社及びグループ会社は映画、テレビ、アニメーション等の数多くの映像コンテンツを製作してまいりました。映画フィルムの劣化により失われていく貴重な映像作品を未来に残す為、フィルムを復元、スキャンングデータを取り、デジタルシネマや多様化する映像メディアにおいて再び鑑賞していただけるよう取り組んでおります。



バリアフリー上映



移動上映

Governance

コーポレート・ガバナンス

Globalに通用するGovernanceを目指して

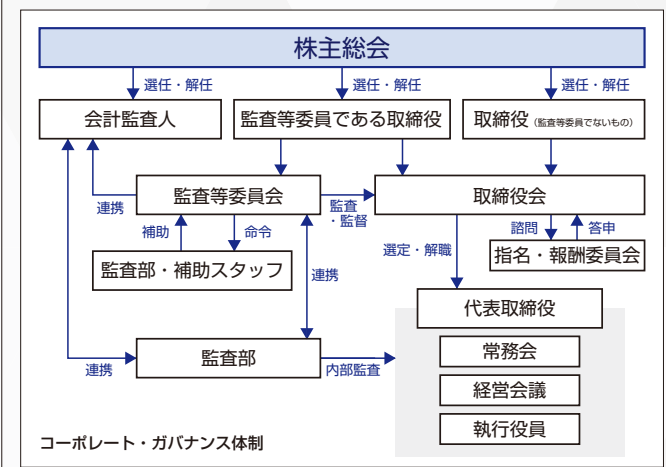
東映株式会社は、2022年6月29日の株主総会をもって監査等委員会設置会社に移行しました。今後もガバナンス体制を強化し、信頼ある企業を目指します。

※コーポレート・ガバナンスの詳細についてはこちらから <https://www.toei.co.jp/company/esg/governance/>

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上へむけて

当社は、創立以来、多様なコンテンツの製作と、それらの多角的な営業により、質高く健全なエンターテインメントの提供に努めてまいりました。当社及び当社グループの企業価値の源泉は、まさしく良質なコンテンツを製作し、提供し続けることにあります。今後も、映像製作の絶え間ない継続による「全世界で人々に愛されるエンターテインメントの創造発信」を理念とした企業活動に従事し、質高く健全なエンターテインメントを創造発信していく「総合コンテンツ企業」を目指して、関連分野等を含む積極的な事業展開を行い、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

当社は、上記の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上という目的を実現する為に、コーポレート・ガバナンス・コードの趣旨・精神を尊重して、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでまいります。



Creative Energy

東映の創造エナジー

自ら作り出したIPをマルチユースして皆様へお届けします。

当社は国内で唯一、東映東京撮影所、東映京都撮影所と東西に2つのスタジオを所有しています。

撮影所を中心に生み出されてきた当社の保有IPは、劇場映画4,400作品・テレビ映画39,000話・配信映画600話を超えます。

映像コンテンツは劇場上映、テレビ放送、配信、ビデオグラム化のほか、キャラクターショーや商品化など様々な形で活用し、皆様へお届けしています。

映像製作拠点

東映東京撮影所

東映京都撮影所

東映デジタルセンター

保有IP数

劇場映画	4,400作品以上
テレビ映画	39,000話以上
配信映画	600話以上



Tokyo Studios

東京撮影所地区

年間映画約40本、テレビ約150本、CM約100本が生み出される、日本最大級の映像制作拠点です。
最新のデジタル技術と同時に長年積み重ねた高い映像制作技術を併せ持ちます。

東京撮影所の特徴

- ▶日本最大級の映像制作拠点として、年間映画約40本、テレビ約150本、CM約100本が制作されています。
- ▶2024年より横30m×縦5mのLEDウォールを設置したLEDスタジオでバーチャルプロダクションの運用を開始、長年培った映像制作技術に加え、最新のデジタル技術をあわせもち、新たな映像作品を生み続けています。

デジタルセンターの特徴

1. ポストプロダクション事業

- ▶オフライン編集14室、サウンド編集11室に加え大型試写室(130席)と充実した映像・音響施設を所有し、年100本以上の映像コンテンツ制作を行っています。
- ▶中でも音響システムドルビーアトモスに対応したダビングステージを日本で初めて導入し、その特性を活かして音楽ライブや演劇作品の製作も行っています。

2. ツークン研究所

- ▶ツークンはドイツ語でZukunft=未来を意味し、「コンテンツの未来をデザインする」というミッションのもと、企画から制作、研究開発まで幅広く行なっています。
- ▶特に、デジタルヒューマン、リアルタイムコンテンツ制作技術等に力を入れて取り組んでいます。
- ▶そして、超高精細な顔スキャンシステムであるLight Stage、キャラクターアニメーションに効果的なモーショキャプチャー、フェイシャルキャプチャー施設を有し、高品質、高効率のコンテンツ制作を社内外に提供しています。



撮影所入り口写真



デジタルセンター正面写真



ダビングステージ（ドルビーアトモス対応）



デジタルヒューマン
<https://youtu.be/oEy4O5tExnQ>



Kyoto Studios

京都撮影所地区

時代劇のノウハウだけでなく、ジャンルを問わない幅広い制作能力を持ちます。隣接する東映太秦映画村は時代劇ファンのみならず、ファミリーにも人気の高い観光都市・京都を代表するテーマパークの1つです。

京都撮影所の特徴

- ▶ 1926年に阪東妻三郎プロダクション太秦撮影所として建設されたのが東映京都撮影所の始まりで、当社で最も伝統のある事業所になります。
- ▶ 時代劇制作の高い技術とノウハウをもちながら、また時代劇以外の様々なジャンルの制作にも対応しています。
- ▶ デジタル技術の開発を積極的に行い、更なる映像制作技術の発展を目指しています。
- ▶ 他社にはない時代劇制作(美術・衣装等含む)の高いスキル、海外作品のロケ地としての協力、併設する太秦映画村というインバウンドに人気の観光スポットを有することから、一私企業を超え日本文化の一翼を担っています。

東映太秦映画村の特徴

- ▶ 1975年に開業。映画撮影が生で見られる【日本初テーマパーク】として京都撮影所のオープンセットの一部を開放してスタートしました。
- ▶ ファミリーも楽しめるアトラクションも充実し、仮面ライダー大集合バトルやエヴァンゲリオン京都基地をはじめ、人気IPとのコラボイベントも多数開催。観光都市・京都を代表するテーマパークとして多くのお客様にご支持いただいています。
- ▶ 2025年に開業50周年を迎えるにあたり、全面リニューアルを行います。2024年より段階的に行い、2028年に全面リニューアルを完了予定です。江戸時代をリアルに没入体験できるテーマパークとして進化します。



東映創立時より数々の撮影が行われてきたオープンセット



仮面ライダー大集合バトル



エヴァンゲリオン京都基地



撮影所入り口写真



時代劇衣装とかつら



アトラクション「忍登-SHINOBORI-」



Movies

映画

当社の祖業である映画という最高のエンターテインメントを製作、配給、興行することで、愛される「ものがたり」を多くの皆様へお届けしています。

東映の映画作品の特徴

- ▶年間約20タイトルの作品を配給しています。
- ▶実写、アニメ、特撮など幅広いジャンルの作品を扱っています。
- ▶東京と京都にある撮影所と最新映像技術を目指すデジタルセンターで映画製作に取り組んでおります。
- ▶企画、製作、配給、宣伝、興行の全てを手掛けることで、戦略的に広いターゲットに向けて作品を届けることが出来ます。
- ▶邦画メジャーの一角を担う映画会社として今後も努力していきます。



「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」
2022年6月11日（土）公開
©バード・スタジオ/集英社 ©「2022 ドラゴンボール超」製作委員会



「仮面ライダーギーツ 4人のエースと黒狐／王様戦隊キングオージャー アドベンチャー・ヘブン」
2023年7月28日（金）公開
©2023 劇場版「ギーツ・キングオージャー」製作委員会



「ONE PIECE FILM RED」
2022年8月6日（土）公開
©尾田栄一郎／2022「ワンピース」製作委員会



「THE FIRST SLAM DUNK」
2022年12月3日（土）公開
© I.T.PLANNING,INC.
© 2022 THE FIRST SLAM DUNK Film Partners



「レジェンド&バタフライ」
2023年1月27日（金）公開
©2023「THE LEGEND & BUTTERFLY」製作委員会



「シン・仮面ライダー」
2023年3月公開
©石森プロ・東映/2023「シン・仮面ライダー」製作委員会



「翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～」
2023年11月23日（木）公開
©2023 映画「翔んで埼玉」製作委員会

TV & Streaming Series

テレビ作品

「相棒」「科捜研の女」などのシリーズドラマの他、仮面ライダーシリーズ、スーパー戦隊シリーズなど長年にわたり国民に愛される作品を作り続けています。

東映のドラマ作品の特徴

- ▶ 映画で蓄積した企画製作能力と制作体制を基盤としてこれまでテレビドラマ3,060作品を世に送り出してきました。
- ▶ 東京撮影所、(株)東映テレビ・プロダクション、京都撮影所が制作を支えます。
- ▶ 刑事もの・時代劇・サスペンス・特撮など作品のジャンルは多岐にわたります。
- ▶ 「相棒」シリーズ、「科捜研の女」シリーズは高い視聴率の水準を維持しており、さらに仮面ライダーシリーズ、スーパー戦隊シリーズなど日本人なら誰もが知っている作品を長年にわたり作り続け、高い支持を受けております。
- ▶ 今後も世界中の人々に長く愛される作品を作り続けます。



「相棒 season22」
2023年10月18日放送開始
©テレビ朝日・東映

「科捜研の女 season23」
2023年8月16日放送開始
©テレビ朝日・東映



「爆上戦隊ブンブンジャー」
2024年3月3日放送開始
©テレビ朝日・東映 AG・東映



「仮面ライダーガッチャード」
2023年9月3日放送開始
©2023石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映

配信作品



「仮面ライダー BLACK SUN」
2022年10月28日配信開始 (Prime Video 世界独占配信)
©石森プロ・東映 ©「仮面ライダー BLACK SUN」 PROJECT



「仮面ライダー555殺人事件<解決編>」
2024年5月5日配信開始 (東映特撮ファンクラブ)
©東映特撮ファンクラブ ©石森プロ・東映



「ギーツエクストラ 仮面ライダーゲイザー」
2024年4月7日配信開始 (東映特撮ファンクラブ)
©東映特撮ファンクラブ
©2022 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映



「風都探偵」 全12話/各25分
2022年8月1日全世界配信開始
©2022「風都探偵」製作委員会



「GAME OF SPY / ゲーム・オブ・スパイ」 全10話/各約30分
2022年6月24日全世界配信開始 (Amazon Original 作品)
©東映

Licensing (TV & Videogram)

放映権・ビデオグラム化権

当社が保有する映像コンテンツをテレビ放映や映像配信、ビデオグラムにて二次利用展開します。

東映の国内映像二次利用運用の特徴

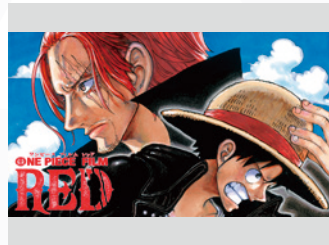
- ▶当社が保有するコンテンツを東映グループのCS放送局「東映チャンネル」をはじめ全国の放送メディア（地上波、BS波、CS波）を対象に放送権を販売。
- ▶当社保有コンテンツのビデオグラム化権を、東映グループの東映ビデオ（株）をはじめとするパッケージソフトメーカーに許諾。
- ▶新作は作品毎に各メディアでの放映期間、回数等を適切にコントロールし、作品価値を最大化しています。
- ▶また新作のみならず往年の名作も各メディアで長きにわたり視聴されています。



「日本侠客伝」
©東映



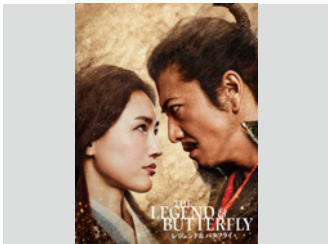
「暴れん坊将軍II」
©東映



「ONE PIECE FILM RED」
©尾田栄一郎 / 2022「ワンピース」製作委員会



「シン・仮面ライダー」
©石森プロ・東映 / 2023「シン・仮面ライダー」製作委員会 ©2023「THE LEGEND & BUTTERFLY」製作委員会



「レジェンド&バタフライ」



「相棒-劇場版-」
絶体絶命！42.195km東京ビッグシティマラソン！
©2008「相棒-劇場版-」パートナーズ

Owned Media (streaming services)

自社保有メディア（映像配信サービス）

「東映特撮ファンクラブ」「東映特撮 YouTube Official」等の映像配信サービスの運営を自社にて行っています。ファンマーケティングの拡大、作品のプロモーション、知育、旧作の掘り起こしなど、東映作品の価値向上のためにそれぞれの役割を担います。

東映特撮ファンクラブ

<https://tokusatsu-fc.jp/> 2015年10月1日提供開始

「仮面ライダー」や「スーパー戦隊」シリーズなど、東映がこれまで制作してきた膨大な特撮ヒーロー作品350タイトル以上が「24時間365日」見放題になるほか、東映特撮ファンクラブが制作したオリジナル番組の視聴やコラムの閲覧、イベント先行予約申込、限定グッズ購入など、さまざまな「ファンクラブ特典」が付属するアプリサービスです。



東映特撮 YouTube Official

<https://www.youtube.com/@TTYO>
2011年8月1日提供開始

仮面ライダーやスーパー戦隊をはじめ、メタルヒーローに不思議コメディといった変わり種まで取り揃えた充実の配信ラインナップを提供している公式YouTubeチャンネルです。



東映時代劇 YouTube

https://www.youtube.com/toei_jidaigeki
2021年11月26日提供開始

東映時代劇作品をより楽しみやすい切り口で編成。数多の時代劇作品を作ってきた東映ならではの充実の配信ラインナップを提供している公式YouTubeチャンネルです。



東映シアターオンライン

https://www.youtube.com/@toei_theater
2022年10月21日提供開始

映画からTVドラマまで数多の名作生み出してきた東映が、その豊富なジャンルの中から特撮・時代劇作品以外を編成する公式YouTubeチャンネルです。



せんたいライダー Kidsチャンネル

<https://www.youtube.com/@SR-KIDS>
2024年2月1日提供開始

人気の歌・ダンスや、知育をテーマにした動画など、「おそさまの楽しい！」知りたい！という気持ちを大切に、遊びながら自然に学べる動画の配信を行うコンセプトの公式YouTubeチャンネルです。



ブンブンジャーちゃんねる

<https://www.youtube.com/@super-sentai>
2024年2月1日提供開始

好評放送中の「爆上戦隊ブンブンジャー」の紹介をはじめとし、【スーパー戦隊シリーズ】をより楽しんでいただけるように、番組の映像や玩具に関するコンテンツを数多く配信する公式YouTubeチャンネルです。



Merchandising

マーチャндаイジング

主に当社が企画制作する特撮ヒーロー作品の商品化、企業CMでの広告・販促使用の他、「仁義なき戦い」「トラック野郎」シリーズの商品化等、ライセンスビジネスで収益を上げています。

東映マーチャндаイジング事業の特徴

- ▶キャラクター作品における著作権管理、営業業務を行っています。
- ▶約半世紀続く「仮面ライダーシリーズ」「スーパー戦隊シリーズ」のターゲットは子供から大人まで。
- ▶玩具、アパレル、日用品、食品、飲料、文具、出版物、CD、ゲーム、ホテルのキャラクタールーム等あらゆるジャンルの商品化、さらに企業CMやキャンペーンでの使用まで幅広くビジネスを行っています。
- ▶老若男女誰もが知るキャラクターや作品を商品等を通じてファンの方々の楽しみと喜びになれるよう展開しています。



「変身ベルト DXガッチャードライバー」
©2023 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映



「仁義なき戦い」Tシャツ
©東映



「トラック野郎 望郷一番星」プラモデル
©東映



「DXポンプジャーロボ」
©テレビ朝日・東映AG・東映

Educational Programs

教育映像

社会教育、学校教材を軸に企画製作を行い、年間製作本数は業界最大シェアを誇っています。
数多くの作品が国内外のコンクールで入賞する実績を上げています。

東映の教育映像作品の特徴

- ▶自主作品：人権啓発、交通安全、防災、消費者教育、学校用教材等の分野で、時勢に適した題材の調査、情報収集を行い、企画制作・販売を行っています。
- ▶受注作品：行政広報用映像や企業用VP等の受注制作を行っています。より高いクオリティを追求しつつ、教育というフィールドにとらわれない新しい市場開拓に取り組んでいます。
- ▶行政機関から学校、企業まで多様な需要に応じたドラマ、ドキュメンタリー、アニメーション、CM等様々なジャンルの作品を取り扱っています。

自主作品



自分ごとSDGs



魔進戦隊キラメイジャーの交通安全



ためらわずに避難を！
水害から命を守る備えと避難行動

受注作品



「破戒」
2022年7月8日より
丸の内TOEIほかにて全国公開
©全国水産社創立100周年記念映画製作委員会
島崎藤村の不朽の名作「破戒」を60年ぶりに映画化。
教育映像部としては昭和30年の創部以来初めて劇場用映画の受注制作を行いました。



人権啓発教材「バス데이」
(兵庫県・兵庫県人権啓発協会)
性の多様性を認め合う
～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～

依然として社会理解が進まない面のある性的少数者に焦点を当て、当事者の苦悩や周囲の人の想いを描いた人権ドラマです。

令和5年度優秀映像教材選奨
最優秀作品賞(文部科学大臣賞)
2023年映文連アワード 部門優秀賞

International License

海外ライセンス

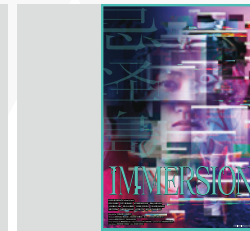
当社が保有する映像コンテンツを海外向けにライセンスしています。またキャラクター作品においては、映像配信・放送・ビデオグラム・商品化などを一体化し総合的なビジネス展開を行っています。

東映の海外ライセンス事業の特徴

- ▶カンヌ、ベルリンといった国際映画祭や国際映画見本市への参加を通し、東映が保有するコンテンツを海外へ向けにライセンスしています。
- ▶長編映画の他、「スーパー戦隊シリーズ」「仮面ライダーシリーズ」等テレビ作品や配信オリジナル作品のライセンスを行っています。
- ▶海外から「ボヘミアン・ラブソディ」等の劇場用映画やテレビシリーズを輸入し、国内テレビ局等へのライセンスを行っています。



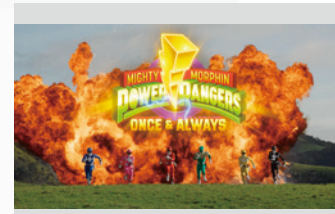
英語版「キリエのうた」
©2023 Kyrie Film Band



英語版「忌怪島／きかいじま」
©「忌怪島／きかいじま」製作委員会



タイ語版「仮面ライダー ビヨンド・ジェネレーションズ」
© 2021 KAMEN RIDER BEYOND GENERATIONS Production Committee



「Mighty Morphin Power Rangers: Once & Always」
©Hasbro ©Toei Company, Ltd.



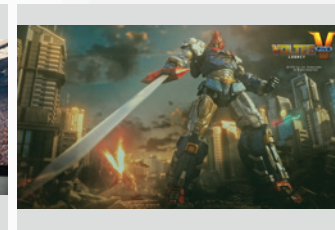
韓国版「風都探偵」
©2022 FUUTO PI Partners



韓国版「恋に落ちたおひとりさま」
© Kelya Mizuno・Bunkyoisha/Toei



「ボヘミアン・ラブソディ」
© 2018 Twentieth Century Fox Film Corporation.
All rights reserved.



「VOLTES V LEGACY」
©TOEI CO. LTD., Telesuccess All Rights Reserved

Events

イベント

キャラクターイベントから美術展、サブカルチャーの展覧会等を全国の美術館・百貨店等で開催。また舞台・演劇公演の他、商品開発やECサイトによる商品販売、「仮面ライダーストア」の運営も行っています。

東映のイベント事業の特徴

- ▶全国に広がる営業ネットワークを基盤に、テーマパークや遊園地、美術館、博物館、百貨店など多彩な施設でイベントを実施。
- ▶国際・文化催事、キャラクターイベント、サブカルチャーイベント、舞台・演劇まで様々なジャンルのプロジェクトを企画制作し、提供しています。
- ▶劇場商品、イベント関連商品などの企画開発・制作・販売も行い、オンラインストアの運用にも力を入れています。
- ▶2020年に東京駅キャラクターストリート内にて「仮面ライダーストア」をオープン。さらに全国でポップアップストアを展開し好評を得ています。
- ▶様々なエンタテインメントを提供できるセクションとして、今後も多彩な企画を皆様へご提案してまいります。

ショー催事



王様戦隊キングオージャー
ファイナルライブツアー 2024
静岡・北海道・宮城・新潟・愛知・
広島・福岡・大阪
©テレビ朝日・東映AG・東映



「超英雄祭 KAMEN RIDER ×
SUPER SENTAI LIVE & SHOW 2024」
神奈川
©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映AG・東映



「仮面ライダースーパーライブ2024」
静岡・広島・熊本・福島・青森・岡山・その他
©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映

関連商品



仮面ライダーストアTOKYO
POP UP STORE：大阪
©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映



東映オンラインストア
©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映
©東映・東映ビデオ・石森プロ ©石森プロ・東映

催事



「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」
大阪、福島、広島、東京、富山、愛知、福岡



「北斗の拳 40周年大原画展
～愛をとりもどせ!!～」
東京、愛知、広島、兵庫、福岡
©武論尊・原哲夫/コアミックス 1983



「生誕50周年記念 THE仮面ライダー展」
愛知・福岡・北海道・東京・静岡・大阪・宮城・埼玉・その他
©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映
©東映・東映ビデオ・石森プロ
©石森プロ・東映

舞台



東映ムビ×ステ 舞台「邪魚隊/ジャッコタイ」
©2024 toei-movie-st

Movie Theaters

映画館

当社の直営劇場とグループ会社の(株)ティ・ジョイが運営するシネマコンプレックスを中心に、自社作品をはじめとする様々な作品を上映。

東映の映画館の特徴

- ▶(株)ティ・ジョイでは国内映画館22劇場218スクリーン(共同経営、共同運営含む)を有しています。
- ▶デジタル化されたスクリーンを活かし、「劇団☆新幹線」の公演をシューティングした「ゲキ×シネ」や、ライブビューイングなど映画以外のデジタルコンテンツ(ODS)の上映にも積極的に取り組み、新しい映画館のエンターテインメントを提供しています。
- ▶直営館である丸の内TOEIでは、東映作品の初日舞台挨拶や完成披露などを数多く実施しています。



新宿バルト9



T・ジョイ横浜



丸の内TOEI

Real Estate

不動産事業

全国に複合商業ビルを中心にオフィス・マンション等を所有し、不動産賃貸事業を展開しています。

東映の不動産事業の特徴

- ▶東京、広島、福岡、仙台など主要都市の映画館や東京撮影所敷地の一部を商業ビルに再開発し運営しています。「新宿バルト9」が入居する「新宿三丁目イーストビル」は旧来の映画館を、「プラッツ大泉」「オズスタジオシティ」は東京撮影所の一部を再開発した物件です。
- ▶社有不動産の有効活用や価値増大を図るとともに、東映らしさを生かし、地域に貢献する再開発事業を推進しています。



新宿三丁目イーストビル



プラッツ大泉

Hotels

ホテル

シティホテルとして新潟東映ホテル、福岡東映ホテルを、温泉リゾートホテルとして湯沢東映ホテルを直営しています。

「あなたの東映ホテル」を共通コンセプトに、心が弾む感動体験と上質なくつろぎを提供しています。

東映のホテルの特徴

- ▶各ホテルとも駅近の好立地。宴会、催事、会議に対応できる宴会場や多彩な料理を提供できるレストランを有しています。
- ▶東映キャラクターームをはじめとした客室販売のほか、ピストロヤバル、ステーキハウスといった専門店の運営等、お客様の多様なニーズに温かいホスピタリティで応えています。



新潟東映ホテル（新潟市中央区弁天）



福岡東映ホテル（福岡市中央区高砂）



湯沢東映ホテル（新潟県南魚沼郡湯沢町）

TOEI Group

東映グループ紹介

東映アニメーション株式会社

日本で最初の本格的なアニメーション製作会社として1956(昭和31)年に誕生。

1958(昭和33)年に日本初のフルカラー長編アニメーション映画「白蛇伝」を製作。

1963(昭和38)年には日本初となるオリジナル企画によるテレビアニメーション「狼少年ケン」を製作するなど、半世紀以上の長きにわたり時代の最先端で作品を作り続けており、製作作品の総話数は13,300話以上、日本最大・世界有数のアニメーションコンテンツ数を誇ります。

近年はデジタル技術の進化と相まって、コンテンツの活用機会が国内外で飛躍的に伸びており、海外での配信権やゲーム化権販が拡大したことによって、海外売上比率は55%(2023年度3月期)と高水準で推移しております。当社はこれからもアニメーションを通し、子どもたちの夢見る心を育み、明るい希望と豊かな想像力を最大限に与えられるよう、あらゆるメディアを超え、国境を越え、世界をつなぐコミュニケーションとして、より良い作品を作り続けてまいります。

<https://www.toei-anim.co.jp/>



TOEI ANIMATION
Since 1956



「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」
2022年6月11日公開
©バード・スタジオ/集英社
©「2022 ドラゴンボール超」製作委員会



「ONE PIECE FILM RED」
2022年8月6日公開
©尾田栄一郎/2022「ワンピース」製作委員会



「THE FIRST SLAM DUNK」
2022年12月3日公開
©I.T.PLANNING,INC.
©2022 THE FIRST SLAM DUNK Film Partners



「映画 プリキュアオールスターズF」
2023年9月15日公開
©2023 映画プリキュアオールスターズF製作委員会
©ABC-A・東映アニメーション



プリキュア プリティストア 大阪本店
©ABC-A・東映アニメーション



「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」
2023年11月17日公開
©映画「鬼太郎誕生ゲゲゲの謎」製作委員会



「ONE PIECE バウンティラッシュ」
©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション
©Bandai Namco Entertainment Inc.



ONE PIECE フィギュア
FUNKO POP! シリーズ

東映グループ紹介

東映ビデオ株式会社

創業より映像コンテンツの企画・製作・製造・販売を行ってきました。

世界初となったカラオケの背景映像の製作やビデオ用オリジナル映画「Vシネマ」シリーズの製作、「HK 変態仮面」「百円の恋」などの劇場用映画の製作も手掛けました。

また、配信や番組販売、舞台作品の企画・製作やグッズ・パンフレットの制作、映画配給、ODS・海外作品の劇場公開など新たな事業も展開させており、総合エンターテインメント企業として成長し続けています。

<https://www.toei-video.co.jp/>



映画
「花腐し」
2023年11月10日(金)公開
©2023「花腐し」製作委員会



Vシネクスト
「仮面ライダー555 20th パラダイス・リゲインド」
2024年2月2日(金)公開
©2024 石森プロ・バンダイ・東映ビデオ・東映
©石森プロ・東映



TVアニメ
「僕らの雨いるプロトコル」
2023年10月より放送
©Team KITSUNE/「ぼくあめ」製作委員会



舞台
「私立探偵 演マイク -我が人生最悪の時-
THE MOST TERRIBLE TIME IN MY LIFE」
©林海象/舞台「私立探偵 演マイク」製作委員会

東映ビデオのパッケージソフトの特徴

▶新作リリース数は、レンタル・セル合わせ年間300タイトルにも及んでいます。

▶レンタル及びセルの市販用での販売に加え、ホテル・図書館・バス・フェリー等に業務用ビデオの販売も行っています。



「仮面ライダー 4K リマスター BOX 3」
2024年2月14日セルBlu-rayリリース
©石森プロ・東映



「仮面ライダー BLACK SUN」
2023年12月6日セルBlu-rayリリース
©石森プロ・東映 ©「仮面ライダー BLACK SUN」PROJECT



「ミギとガリ Blu-ray Box 1」
2024年2月14日セルBlu-rayリリース
©佐野菜見・KADOKAWA/ビーバース



映画「仮面ライダーギーツ4人のエースと黒狐」コレクターズエディション
2023年11月29日セルBlu-rayリリース
©2023映画「ギーツ・キングオブジャー」製作委員会
©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映

TOEI Group

東映グループ紹介

株式会社東映エージエンシー

総合広告代理店として、各種メディアプランの作成・実施、CM・PR映像・平面グラフィックの企画運営等の従来の広告事業に加え、映画宣伝・プロモーション事業をはじめとする、エンターテインメント事業にも積極的に取り組んでいます。また、東映グループをはじめとするコンテンツホルダーが保有するライセンスを活用したキャラクタービジネスは長い歴史を持ち、「スーパー戦隊シリーズ」においては企画・制作・放送に加えて関連キャラクターのマーチャンダイジング、イベントプロモーション、POPに至る一貫したサービス機能で商品化スポンサーをサポートしています。

他、人材派遣・紹介サービス「東映キャリアワン」が優秀な人材を紹介します。

今後も広告事業とともに映画・エンターテインメント事業を通し、良質のコミュニケーションを提供し、お客様のソリューションに貢献いたします。

<https://www.toeiad.co.jp/>



「王様戦隊キングオージャー」
©テレビ朝日・東映AG・東映



株式会社
東映エージエンシー



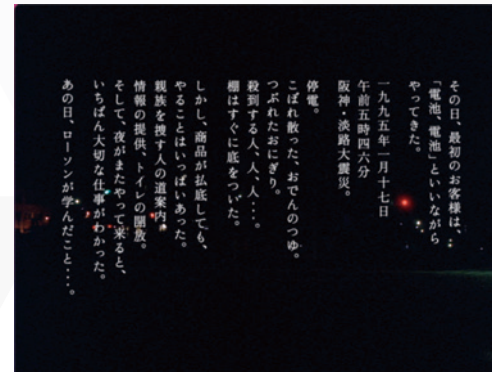
東映シーエム株式会社

CM業界では老舗の制作会社として、1962(昭和37)年に寿屋(現・サントリー)赤玉ポートワインで日本初カンヌ広告祭入賞、1977・78(昭和52・53)年には、龍角散、松下電器産業(現・パナソニック)で2年連続ACC CMフェスティバルグランプリを受賞するなど輝かしい実績を残しています。現在では、食品、飲料、薬品、情報、娯楽、金融、出版、陸運、外食等さまざまな企業のテレビコマーシャルを年間150本制作しています。また、WEB動画、ビデオプロモーション、劇場用映画、イベント配信、テレビ番組等の映像コンテンツの制作にも取り組んでいます。

<https://toei-cm.co.jp/>



松下電器「お帰りなさい神戸の明かり篇」
1996(平成8)年
ACC CMフェスティバル 入賞作品



ローソン「あの日学んだこと篇」
2003(平成15)年
ACC CMフェスティバル 銀賞作品



ABCマート「前進する靴篇」
2004(平成16)年
ACC CMフェスティバル 銀賞作品

東映グループ紹介

東映衛星放送株式会社

1998年、通信衛星放送局として開局。以降、東映作品を中心としたコンテンツを放送するエンターテインメント・チャンネル「東映チャンネル」を運営しています。

放送ジャンルは多岐にわたり、話題の新作映画をはじめ、懐かしの時代劇・任侠映画から、アニメ、特撮ヒーロー、刑事ドラマまで、70年以上の歴史をもつ東映ならではの多彩なコンテンツを提供しています。また、劇場公開映画にあわせた関連作の特集や、巨匠監督や名俳優のメモリアル企画、今まで放送することができなかったお蔵入り作品のTV初放送など、視聴者のニーズを意識した編成で、幅広い世代の方楽しんでいただいております。

<https://www.toeich.jp/>



「仁義なき戦い 4Kリマスター版」
© 東映



「宮本武蔵」
© 東映



「Gメン' 75」
© 東映



「仮面ライダー」
© 石森プロ・東映

株式会社東映建工

東映株式会社の100%子会社として創業したのが昭和33年。それ以来東映株式会社、及びグループ間の協力と独自の技術をもとに経験を重ね、映像を軸にした内装工事、一般建築等で着実に実績を重ねてきました。今後も既存の事業の枠にとらわれず、大規模施設の開発等、自由な発想で潜在ニーズを先取り、積極的に新しい空間を創り出していきます。

<https://www.toei-kenko.com/>



109シネマズグランベリーパーク ロビー



109シネマズグランベリーパーク シアター内



T・ジョイ横浜 シアター内

TOEI Group

東映グループ紹介



株式会社ティ・ジョイ
<https://tjoy.co.jp/>



<https://www.toei-anim.co.jp/>



<https://www.toei-video.co.jp/>

株式会社 セントラル・アーツ
Central Arts Co.,Ltd.



株式会社東映テレビ・プロダクション



株式会社AMAZON LATERNA
<http://amalate.co.jp/>



<https://www.toeiad.co.jp/>



<https://toei-cm.co.jp/>



<https://www.toeilab.co.jp/>



東映デジタルラボ株式会社
<https://www.toeilab.co.jp/business1/>



東映音楽出版株式会社
<http://www.toeimusic.co.jp/>

東映アニメーション音楽出版株式会社



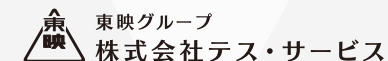
<https://www.toei-anim.co.jp/tavac/>



<https://saneigp.com/>



株式会社東映建工
<https://www.toei-kenko.com/>



<https://www.tes-service.co.jp/>



株式会社東映京都スタジオ
<https://www.toei-eigamura.com/>



株式会社東映ホテルチェーン
<https://www.toei.co.jp/hotel/>



東映衛星放送株式会社
<https://www.toeich.jp/>



株式会社FLARE CREATORS

沿革・おもな出来事

	沿革	おもな出来事
1951	東京映画配給株式会社・東横映画株式会社・太泉映画株式会社の3社が合併	
1952	本社を東京都中央区京橋に移転。東京証券取引所に株式上場。	
1953	直営モデル劇場第1号「渋谷東映劇場」(東京都渋谷区)オープン。	第1回東映ニューフェイス入社。 『ひめゆりの塔』日本映画創始以来の記録的配収を達成。東映初の総天然色映画『日輪』公開。 中村錦之助ブームのきっかけとなった冒険活劇『笛吹童子』公開。東映娯楽版が軌道に乗る。 年間製作本数世界一を記録。 市川右太衛門主演『旗本退屈男 謎の怪人屋敷』より、「荒磯に波」の東映クレジット・タイトル登場。
1954	京都撮影所、東京撮影所に新ステージ完成。教育映画の自主製作を開始。	片岡千恵蔵代表作『血槍富士』公開。児童劇映画第1弾『ふろたき大将』公開。 創立5周年記念映画『赤穂浪士』公開。東映が業界第1位の成績を取る。 邦画初の大規模映画、東映スコープ第1号の『鳳城の花嫁』公開。映画『水戸黄門』公開。
1955		
1956	日動映画(株)を買収、東映動画(株)(現・東映アニメーション(株))として発足。	
1957	(株)日本教育テレビ(現・(株)テレビ朝日ホールディングス)設立に資本参加。	
1958	テレビ映画の製作に進出。	『純愛物語』第8回ベルリン国際映画祭銀熊賞(監督賞)受賞。 日本初の総天然色長編動画映画『白蛇伝』公開。 東映初のテレビシリーズ『風小僧』を制作。 テレビシリーズ『捜査本部』放送開始。
1959	日本色彩映画(株)(現・東映ラボ・テック(株))を系列化。	
1960	東京都中央区銀座に「東映会館」を開館、本社を移転。第二東映発足。 「丸の内東映劇場」オープン。	
1961		全5部作となる萬屋錦之介主演『宮本武蔵』第1作目公開。創立10周年記念映画『赤穂浪士』公開。 テレビシリーズ『特別機動捜査隊』放送開始。 教育映画部(現・教育映像部)、世界に先駆けトニーキー8ミリの開発事業化へ。 東映フライヤーズ、プロ野球日本シリーズにて優勝。
1962		
1963		『人生劇場 飛車角』公開。任侠映画路線スタート。 日本初のテレビ用オリジナルアニメーション『狼少年ケン』放送開始。 『武士道残酷物語』第13回ベルリン国際映画祭金熊賞(グランプリ)受賞
1964	直営ボウリングセンター第1号「横浜東映ボウリングセンター」(神奈川県横浜市)オープン。	『東映まんがまつり』や『東映アニメフェア』の前身となる、『まんが大行進』公開(テレビアニメを映画館で上映)。
1965		不朽の長編文芸大作『飢餓海峡』公開。 高倉健主演・大人気シリーズ『網走番外地』スタート。 任侠映画『昭和残侠伝』公開。
1966		劇場版『サイボーグ009』公開。
1967		テレビシリーズ『仮面の忍者 赤影』放送開始。 『東映まんがまつり』スタート。
1968		藤純子主演・女性版任侠映画『緋牡丹博徒』シリーズ開始。 テレビアニメシリーズ『ゲゲゲの鬼太郎』放送開始。 テレビシリーズ『キイハンター』放送開始。
1969		『長靴をはいた猫』の公開により、『東映まんがまつり』定着。 テレビシリーズ『水戸黄門』放送開始。



沿革・おもな出来事

	沿革	おもな出来事
1970	東映ビデオ(株)を設立、ビデオ事業に進出。事業目的にボウリング業、ホテル業を追加。	
1971	岡田 茂が社長に就任。	昭和仮面ライダーシリーズ第1作『仮面ライダー』放送開始。社会現象を起こす。
1972	事業目的に不動産売買・賃貸、演芸・催物製作供給、版權事業を追加。洋画配給業に進出。	テレビアニメ『マジンガーZ』『デビルマン』放送。
1973		深作欣二監督作品『仁義なき戦い』公開。実録路線の誕生。
1975	「東映太秦映画村」(京都市右京区)開業。	『トラック野郎 御意見無用』公開、人気シリーズに。 スーパー戦隊シリーズ第1作『秘密戦隊ゴレンジャー』放送開始。
1977		『人間の証明』公開。 テレビシリーズ『特捜最前線』放送開始。
1978	映像事業部(現・事業推進部門)を新設。 「広島東映カントリークラブ」(広島県東広島市)開業。 事業目的に映画関連商品・テレビ番組の製作販売、建築工事請負を追加。	『柳生一族の陰謀』公開。東映時代劇が12年ぶりに復活。 『野性の証明』『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』公開。 松田優作主演『最も危険な遊戯』公開。
1979		劇場版『銀河鉄道999』公開。
1980		『動乱』公開。高倉 健、吉永小百合が共演。 『二百三高地』公開。
1981	「東映イン博多(現・福岡東映ホテル)」(福岡市中央区)開業。 不動産事業・ホテル網整備拡充を進める。	『セーラー服と機関銃/燃える勇者』公開。梅田東映劇場(大阪市北区)舞台挨拶ではファン殺到の為、機動隊が出動。
1982		『鬼龍院花子の生涯』公開。文芸大作路線が始まる。
1983	郊外型ショッピングセンター「プラッツ大泉」(東京都練馬区)オープン。	『楢山節考』公開。第36回カンヌ国際映画祭パルム・ドール(最高賞)に輝く。
1984		テレビシリーズ『銭形平次』当時の最長寿記録888回で終了。 『空海』公開。
1985		『ピー・バップ・ハイスクール/野蛮人のように』公開。アイドル映画全盛期を迎える。 テレビシリーズ『スケバン刑事』放送開始。
1986		テレビアニメシリーズ『ドラゴンボール』放送開始。 『極道の妻たち』公開。女性版実録シリーズがスタート。
1987		『あぶない刑事』公開。
1989		『魔女の宅急便』公開。『黒い雨』第42回カンヌ国際映画祭で高等技術委員会グランプリ受賞。 『東映Vシネマ』製作開始。
1990		『天と地と』公開。海外大ロケーションを敢行。
1992		テレビアニメシリーズ『美少女戦士セーラームーン』放送開始。一大ブームに。
1993	岡田 茂が会長に、高岩 淡が社長にそれぞれ就任。	『Power Rangers』シリーズがアメリカ他、海外で放送開始。
1996		『THE END OF EVANGELION』公開。
1997		『失楽園』公開。
1998	東映衛星放送(株)設立。「東映チャンネル」放送開始。	
1999		『鉄道員(ぽっぽや)』公開。 テレビアニメシリーズ『ONE PIECE』放送開始。



沿革・おもな出来事

	沿革	おもな出来事
2000	(株)ティ・ジョイを共同出資により設立。第1号「T・ジョイ東広島」(広島県東広島市)オープン。 全国朝日放送(株)(現・(株)テレビ朝日ホールディングス)が東京証券取引所市場第一部に株式上場。 東映アニメーション(株)が株式を日本証券業協会に店頭登録。	『バトル・ロワイアル』公開。 平成仮面ライダーシリーズ第1作『仮面ライダーダークウガ』放送開始。 『相棒』第1作目が単発ドラマとして放送。2002年よりシリーズ化。
2002	「E～ma(イーマビル)」(大阪市北区)竣工。「梅田ブルク7」が営業開始。 高岩 淡が会長に、岡田裕介が社長にそれぞれ就任。	
2004		プリキュアシリーズ第1作『ふたりはプリキュア』放送開始。
2005		『北の零年』『男たちの大和/YAMATO』公開。
2006	東映興業不動産(株)(連結子会社)を吸収合併。	『明日の記憶』『大奥』公開。
2007	「新宿三丁目イーストビル」(東京都新宿区)竣工。「新宿バルト9」が営業開始。	
2008		『相棒 - 劇場版 - 絶体絶命! 42.195km 東京ビッグシティマラソン』公開。
2009	東京撮影所・第6ステージ竣工、営業開始。	『劔岳 点の記』『ONE PIECE FILM STRONG WORLD』公開。 『Kamen Rider Dragon Knight』が全米ネットOA。(他フランス、メキシコ)
2010	「東映デジタルセンター」(東京都練馬区)竣工、営業開始。	『相棒 - 劇場版II - 警視庁占拠! 特命係の一番長い夜』公開。
2011	岡田 茂名誉会長、死去。	『探偵はBARにいる』『聯合艦隊司令長官 山本五十六 - 太平洋戦争70年目の真実 - 』公開。
2012		『ONE PIECE FILM Z』公開。 『エヴァンゲリオン新劇場版:Q』((株)ティ・ジョイ、(株)カラー共同配給)公開。
2013		『ドラゴンボールZ 神と神』公開。 『東映ヒーローワールド』をイオンモール幕張新都心(千葉市美浜区)にオープン。(株)ナムコとの共同事業)
2014	岡田裕介がグループ会長に、多田憲之が社長にそれぞれ就任。	『相棒 - 劇場版III - 巨大密室! 特命係 絶海の孤島へ』公開。
2015		『ドラゴンボールZ 復活の『F』』公開。
2016		仮面ライダー生誕45周年&スーパー戦隊40作品目の「スーパーヒーローイヤー」を迎え、さまざまなプロジェクトを実施。 『さらば あぶない刑事』『ONE PIECE FILM GOLD』公開。
2017		『相棒 - 劇場版IV - 首都クライシス 人質は50万人! 特命係 最後の決断』公開。
2018	「東映アニメーション新大泉スタジオ」営業開始。	平成仮面ライダー 20作品記念サイト開設。 『北の桜守』『孤狼の血』『ドラゴンボール超 ブロリー』公開。
2019		『翔んで埼玉』『ONE PIECE STAMPEDE』公開。 令和仮面ライダーシリーズ第1作『仮面ライダーゼロワン』放送開始。
2020	手塚治が社長に就任。 岡田裕介グループ会長、死去。	『犬鳴村』公開。
2021	多田憲之が会長に就任。	仮面ライダー 50周年を迎え、さまざまなプロジェクトを実施。 『いのちの停車場』『老後の資金がありません!』公開 『ドラゴンボール超 スーパーヒーロー』公開。『ONE PIECE FILM RED』公開。歴代興行収入で新記録樹立 『THE FIRST SLAM DUNK』公開。 生誕50周年企画作品『仮面ライダー BLACK SUN』『風都探偵』を配信開始。
2022	組織改編を実施	創立70周年記念映画『レジェンド&バタフライ』公開。 生誕50周年企画作品、映画『シン・仮面ライダー』公開。
2023	手塚治社長、死去。吉村文雄が社長に就任。 中長期ビジョンTOEI NEW WAVE 2033を発表	



Company Profile

会社概要

会社名	東映株式会社 TOEI COMPANY, LTD.
所在地	〒104-8108 東京都中央区銀座3丁目2番17号
電話番号	03-3535-4641(代表)
設立年月日	1949年(昭和24年)10月1日 (創立年月日1951年(昭和26年)4月1日)
資本金	11,707(百万円)
株式市場	東京証券取引所プライム市場
従業員数	384名 2023年9月30日現在
代表者	代表取締役会長 多田憲之 代表取締役社長 吉村文雄



IR 情報はこちらからご覧いただけます。
<https://www.toei.co.jp/company/ir/>

Organization

組織





www.toei.co.jp